

令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 東京都立世田谷総合高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成
教諭1名、事務1名 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭4名、主任教諭1名 計8名
- (4) 協議委員の構成
世田谷区立二子玉川小学校 校長、世田谷区立砧南中学校 校長、
社会福祉法人世田谷おとぎの森保育園 園長、二子玉川商店街振興組合理事、
成城警察署生活安全課少年係 係長、世田谷区鎌田児童館 館長、
成城消防署警防課地域防災担当係長、保護者と生徒と教職員の会（PTA） 会長
計8名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和4年6月24日（金）内部委員8名、協議委員6名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出、学校経営報告、学校経営計画説明、学校概要説明、意見交換
 - 第2回 令和4年11月25日（金）内部委員8名、協議委員6名
学校評価目的の確認、学校評価の内容検討、教育活動状況報告、意見交換
 - 第3回 令和5年2月3日（金）内部委員8名、協議委員4名
学校評価の報告及び学校運営に関する提言・協議、学校関係者評価の実施、
次年度へ向けた方向性の確認、意見交換
- (2) 評価委員会の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和4年11月25日（金）内部委員4名、評価委員1名
今年度の学校評価の観点・項目、アンケート内容・実施時期の検討、
 - 第2回 令和5年2月3日（金）内部委員4名、評価委員1名
学校評価アンケートの結果・分析、学校関係者評価表の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の教育・指導」「学校の目標・特色」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・12月	全校生徒	600人
・12月	保護者全員	340人
・12月	教員	53人
・12月	地域関係者	12人
- (3) 主な評価項目
・学校運営、学習指導、生活指導、いじめ・体罰防止、進路指導、特別活動、施設、接遇、ライフワーク・バランス、地域との連携
- (4) 評価結果の概要（学校及び校長への意見・提言内容）
 - ・学校と地域との連携について質問項目があらたに加わった。
 - ・学校評価アンケートの調査対象に地域関係者があらたに加わった。
- (5) 評価結果の分析・考察（学校及び校長への意見・提言）
 - ・進路指導や教育活動の様子の公開など、教職員の姿勢により徐々にではあるが継続してポイントアップしている。
 - ・日常的に教育活動に生徒の意見・要望を取り入れているという項目についての評価は、生徒

と教員で差が大きく開いており、依然として課題がある。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

生徒だけでなく保護者の満足度が高い点が良い。R5以降も継続して諸活動に全員で取り組んでいきたい。生徒の満足度も高評価であり、教員の組織的な取り組みにより、総合学科の特性を理解しながら生徒が充実した学校生活を送ることができている。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

教員の取組みの実態や意図が十分に生徒や保護者に伝わらない部分がある。個に応じた教育相談を更に充実させるとともに、一斉メールの導入に伴い、学校からの連絡を適宜発信させる機会を増やしたい。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動改善事項（学校経営計画反映）

(1) 学校運営

ものづくりを基盤とした国際理解教育への取り組みについて、ネットでの情報発信のみならず、イベント等を積極的に行い募集活動に繋げている。近隣保育園・幼稚園、小中学校、介護施設などとの連携・交流を継続するとともに、本校に招いての交流を積極的に行っていく。HPやYouTubeを使って外部発信を頻繁に行ったことにより、学校の知名度は上昇している。現在開拓の最中であるが、地域発信の次に地域連携の深堀りに重点を置いていく。

(2) 学習指導

総合学科高校として質の高い課題研究に取り組ませるためには学力向上は重要課題である。主体的な学びになりにくい授業もあり、実技教科を多く選択する生徒との取り組み内容に差が生じる。総合学科としての特性を保護者が理解していただいている状況であることがわかる。教員は工夫していると思っているが、生徒がついていけない部分がある授業内容について、主体的で対話的な授業への取り組みについて、研修を進めたい。

(3) 特別活動

安全な部活動環境の下、活動できているのは、各顧問が苦慮しつつ生徒の為に取組んでいる成果と考える。次第にコロナ禍以前の形を発展させた内容の行事や部活動が実施できつつある。行事については Teams で配信するなど多くの工夫をしながら発展的に行っていると保護者等から理解されつつある。まだ、従来通りにできない部分については、御理解いただく説明も更に必要である。

(4) 生活指導

入学前より示している学校生活における指導内容について、若干の生徒が実行に移せていない部分がある。高速を再確認しながら、時代と現状に合った指導をしている。本協議会での意見を参考にしながら、本校が大切にすべき指導方針を、生徒・保護者に理解してもらうよう伝えていく。

(5) 進路指導

進路やキャリアの進捗について、会議を通して情報共有している成果かとして、生徒・保護者・地域の理解が得られている。キャリア教育における保護者や地域への情報提供を更に行っていきたい。今後は更に、課題研究と進路活動を関連付け、進路活動への成果を充実させていく。

(6) 健康・安全

担任や顧問を中心に家庭への電話や面談を行う指導について保護者に理解いただけている。また、教員の指導の意図が十分に生徒や保護者に伝わらない場合もあるため、組織的に対応をし、保護者からの理解を求められる取組を検討したい。スクールカウンセラー等の活用もさらに推進したい。

6 授業見学への協議委員の参加実績及び成果

【実績】本校で行った教育活動成果発表会におけるPRポスターを学校運営連絡協議会にて配布し、各委員に周知してもらった。また、プログラムを配布し、実施内容を御理解いただいた。

【成果】協議委員の都合により、一部の参観に留まった。

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】なし

【その他】報告及び研修により、協議会での意見等を周知している。

8 その他

学校ホームページのこまめな更新や、行事の Youtube 配信などによる成果が出ている。大規模な取組を実施しているが、教員と保護者の意識に開きがある。発信を受信してもらえる工夫も必要である。